

平成28年度第2回蕨市総合教育会議 議事録

1. 日 時 平成29年2月15日（水） 午後3時～午後4時15分

2. 会 場 市役所4階 第1委員会室

3. 出席者（敬称略）

市 長：頼高 英雄

教育長：松本 隆男

委 員：加藤 正明、飯野 朗子、小島 奈津子

事務局：【市長部局】今井 武（理事）、川崎 文也（総務部長）、根津 賢治（総務部次長政策企画室長）、田熊 純也（政策企画室長補佐）、森本 悠理（政策企画室主事）

【教育部局】須崎 充代（教育部長）、杉田 勝弘（教育部次長学校教育課長）、榎本 弘文（教育部次長生涯学習スポーツ課長）、倉石 尚登（教育総務課長）、岡部 慎一（学校教育課主幹）、小松 正博（教育部副参事図書館長）、加納 克彦（中央公民館長）、吉岡 雅彦（学校教育課長補佐）、松永 祐希（生涯学習スポーツ課長補佐）、野田 智之（生涯学習スポーツ課長補佐）、樋口 裕一（図書館長補佐）、渡邊 浩介（教育総務課庶務係長）、鈴木 啓文（生涯学習スポーツ課生涯学習振興係長）

4. 内 容

1 開会

【川崎総務部長】

それでは、定刻となりましたので、始めさせていただきます。

ただいまから、「平成28年度第2回蕨市総合教育会議」を開会いたします。

私は、本日の会議の進行を務めさせていただきます、総務部長の川崎でございます。よろしくお願いいたします。

この会議は、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有することで、より一層民意を反映した教育行政の推進を図ることを目的としておりますので、よろしくお願いいたします。

なお、萩原委員につきましては、本日、所用のため、欠席でございます。

2 あいさつ

【川崎総務部長】

それでは、ここで、頼高市長から、ごあいさつをお願いいたします。

【頼高市長】

こんにちは。本日は、「平成28年度第2回蕨市総合教育会議」を開催したところ、ご参集いただき、誠にありがとうございます。また、教育委員の皆様におかれましては、蕨市の教育行政の推進に日頃より格別のご支援・ご協力をいただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。

前々回の総合教育会議で、ふるさと蕨を子供たちに感じてほしいという話とともにわらび郷土かるたが話題に出ましたが、先日、「第23回わらび郷土かるた大会」が開催されました。88チームの事前申込があり、中央小学校の体育館いっぱい子供たちが参加し、盛大に行われました。あいさつのなかで、北小学校の初代校長先生である石川直中先生の札を紹介したところ、北小学校の児童が多かったせいか、子供たちの反応もよかったです。色々な方の協力を得た事業により、地域のなかで子供たちが育っていることを実感しています。

また、昨日、蕨市人権教育推進協議会が主催する「人権尊重社会をめざす市民のつどい」があり、「みんなの学校」という映画が上映されました。大阪で実際にある公立学校の取り組みをドキュメンタリー風に紹介しており、非常に感動的な映画でした。特別支援が必要な子供が、普通学級のなかで、みんなで育っていく姿を見て、相当な困難のなか、実践している例があることに感銘を受けました。なお、来月、映画の中で校長先生だった方が蕨で講演いたします。

前回の総合教育会議では、子供たちの学力について議論いただきましたが、蕨は学校・家庭・地域の連携により、学力は大変すばらしい水準にあり、成果が上がっていると思います。行政としても、35人程度学級、わらび学校土曜塾に加えて、昨年4月からはスクールソーシャルワーカーを配置し、色々な取り組みを進めています。子供たちの学力が平成27、28年度と県内で良好な状況にあることについて、皆さまに感謝申し上げます。

今日の議題は、次第にあるとおり、平成29年度の教育事業の概要についてを主な議題とし、その他、子供たちに関わる取り組みとして、西武pとの連携協定による野球教室などについても報告いただきます。

限られた時間ですが、忌憚りの無い意見をいただき、この会議が実り多いものとなり、今後の蕨の教育の発展、子供たちの健やかな成長につながるものになればと思っています。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

3 議題

【川崎総務部長】

ありがとうございました。それでは、要領第3条の規定に基づきまして、ここからの会議の議長を、頼高市長にお願いさせていただきます。頼高市長、よ

ろしくお願いいたします。

(1) 平成 29 年度教育事業の概要（案）について

【頼高市長】

規定に基づいて議事を進めさせていただきます。次第に沿って、平成 29 年度教育事業の概要（案）について議題とします。事務局から説明をお願いします。

【倉石課長】

資料 1 ページ「蕨市教育大綱の抜粋」をご覧ください。教育の目標や施策の根本的な方針である大綱は、教育基本法第 17 条に基づき定めるものとされています。蕨市の大綱は、第 1 回蕨市総合教育会議で市長が教育委員会と協議・調整し、蕨市の最上位計画「将来ビジョン」と整合性が図られ、教育基本法の根本的な方針を参酌していることから、教育振興計画をもって教育大綱としました。

蕨市教育大綱は基本理念、基本方針、基本目標を骨子としており、蕨市の教育の目指す姿として構成しています。今回説明する平成 29 年度教育事業の概要（案）は大綱を基に、基本目標に掲げる「① 学びあい高めあう学校教育の充実」、「② 生涯学習を支える社会教育の充実」、「③ どこでも誰もが親しめる生涯スポーツの充実」の各分野における平成 29 年の新規・拡充事業及び特徴的な事業を 11 事業あげています。なお、各事業の説明は、基本目標ごとに各担当課から説明をさせていただきます。

基本目標① 学びあい高めあう学校教育の充実

1 少人数学級推進事業（35 人程度学級）

【杉田次長】

予算額は 2,300 万 7,000 円で来年度は 4 名の配置を予定しています。国・県において小学校 1、2 年生の 35 人学級を実施していますが、蕨市は独自に 3 年生から 6 年生までの少人数学級を実施しており、低学年から円滑な引継ぎを行うことができます。

学級編制を少人数化することにより、学級担任の目の行き届いたきめ細やかな教育指導を行うことができ、保護者にも丁寧に対応できるメリットがあります。

子供たちが活躍する機会を与えることができ、きめ細やかな指導により、学力を深めることができた効果が報告されています。

2 日本語特別支援教室の開設

【杉田次長】

予算額は548万9,000円で、教育センター機能の充実を図るため、統括相談員と日本語特別教育支援員を配置し、日本語特別教育支援教室を開催します。統括相談員は教育の経験・知識を持つ統括役として、適応指導教室や日本語特別支援教室において運営監督を行い、学校教育機関との連携強化を図ります。日本語特別教育支援員は、初期の日本語指導や児童・生徒・保護者の教育相談、学校の巡回指導を行い、日本語、中国語、英語ができる人材を採用します。

開設場所は福祉・児童センターの集会室で、月・火・水の午前中に日本語の会話が困難な児童・生徒に対する初期の学習指導及び学校生活の約束など初期の学習支援を行います。その後は、在籍する学校で各校のカリキュラムに基づき学習を進めます。

集会室を使用できない日は、各校の保護者に対する教育相談も行う予定で、急増する在住外国人の児童生徒・保護者への対応を喫緊の課題と捉えて、対応を図っていきます。

3 学校トイレの環境改善

【倉石課長】

平成29年度は西小学校、中央東小学校、東中学校を対象としており、予算額は小学校2校で3,200万円、中学校1,640万円の合計4,840万円となります。また、歳入として国庫補助金857万1,000円を計上しています。

事業概要及び工事内容は、老朽化によるにおいや汚れなどを解消し、和式便器が苦手な子供に配慮した洋式便器への交換のほか、小便器のフラッシュバルブ化、床の乾式化などであり、トイレ空間の環境向上を進めます。なお、工事は、学校運営に影響が少ない長期休みに、校舎内のワンフロア男女1箇所ずつ行う予定です。

4 校庭の芝生化

【倉石課長】

校庭等の芝生化を推進し、日常的な運動量を増やすことで健康な児童を育成するとともに、理科教育や環境教育における体験的な学びの機会を増やし、教育環境の一層の充実を図ります。

事業概要としては、東小学校校庭の隅、約1,000㎡に工事費620万円で土壌改良を行い、国立競技場でも用いられる、高い生育性や擦り切れ抵抗性のある芝生を植栽します。その他、芝刈り機など維持管理器具も購入し、PTA「ひがし委員会」、通称「おやじの会」が中心となる「(仮称)東小芝生管理委員会」

により、教職員、児童、PTA、地域の方々と共に行う計画で、芝生を生かした教育活動・地域活動を推進します。

なお、予算額 700 万円はすべて県の補助金でまかなう予定です。

基本目標② 生涯学習を支える社会教育の充実

1 社会教育施設の耐震化

【加納館長】

予算額 1 億 1,601 万円を見込んでおり、歳入として国庫補助金 634 万 9,000 円を計上しています。事業の内容は中央公民館、北町公民館の耐震補強等工事と図書館の耐震補強工事設計となっています。北町公民館は工事 2 年目であり、両公民館とも複合施設のため、面積按分による負担額となります。なお、工事に伴い北町公民館は今年の 6 月まで、中央公民館は今年 7 月から来年 1 月 6 日まで休館を予定しています。

中央公民館の工事の主な内容としては、市民会館共有部分の耐震化、一部の部屋の壁の張替え、照明器具の交換、トイレ改修などを、また図書館では、今年度に行った耐震診断の結果を踏まえ、補強に向けた工事の設計委託を予定しています。

2 わらび学校土曜塾

【榎本次長】

予算額は、各小学校区の実行委員会への委託料 682 万 8,000 円です。よりきめ細やかな対応を目指して学習アドバイザーを 4 名から 5 名に増員するため、1 校あたりの金額は約 8 万円増加しています。一方、歳入としては県補助金 421 万 6,000 円を見込んでいます。

土曜塾は、平成 25 年度に 3 校、26 年度に 4 校がスタートし、7 校すべての小学校区において、学習習慣の定着を目的として、塾長等のスタッフがおおむね隔週で土曜日の午前に実施しています。

3 音楽によるまちづくり

【榎本次長】

予算額は 205 万円です。平成 27 年度にスタートして、今年度は、わらび音楽大学、市内小・中学校への音楽家派遣を実施したほか、第 2 回蕨市民音楽祭を 11 月に開催しました。また、市内で行われている音楽イベントを集約した情報紙を発行し、市の HP にもアップしています。平成 29 年度もより一層事業を充実したいと考えていますが、特に市民音楽祭は、昨年まではステージで演奏したい市民がメインでしたが、平成 29 年度は聴きたい市民をメインとし

て開催することを予定しています。開催を予定する 11 月第 2 日曜日は市内各所で音楽が聴けるように、商店街・飲食店・企業の参加協力を得て、市外から多くの人を訪れ、賑わいを創出できる市民イベントにしたいと考えています。

基本目標③ どこでもだれもが親しめる生涯スポーツの充実

1 市民体育館耐震補強等工事

【松永課長補佐】

市民体育館、北町公民館、北町児童館の 3 施設の複合施設の耐震補強工事となります。平成 29 年度の総工費は約 3 億 5,000 万円、そのうち市民体育館分として面積按分率 80%の約 2 億 7,000 万円を見込んでいます。工事は昨年 7 月から始まり、今年 6 月 30 日に完了を見込んでいます。工事内容は、今年度はアリーナの耐震補強工事と床以外の内装工事を行っており、平成 29 年度は、アリーナの床部分の内装工事と水回り、エレベータ、照明器具の交換工事等を行う予定です。

2 錦町スポーツ広場の人口芝化

【野田課長補佐】

錦町スポーツ広場は、錦町 2 丁目給食センターに隣接するサッカーコート半分ほどの広場です。平日は、グラウンドゴルフや保育園の運動遊び、土日は少年野球や少年サッカーの練習や試合に利用されています。より多くの市民がスポーツ・レクリエーションを楽しめるよう、人工芝化等の改修工事を実施します。工事内容は人工芝化の他、防球フェンス、夜間照明灯、水飲み場、ベンチや駐輪場などの整備を予定しています。予算は 2 億 5,067 万 2,000 円で、スポーツ振興くじ助成金の 6,800 万円を歳入としてあてる予定です。

3 スポーツ施設のリニューアルオープンイベント

【松永課長補佐】

市民体育館の耐震補強等工事と錦町スポーツ広場の人工芝化工事終了後に、それぞれイベントを組む予定です。予算額は 150 万円で、スポーツ振興くじ助成金 80 万円を歳入としてあてる予定です。開催時期は、市民体育館についてはオープン予定の 7 月上旬に、錦町スポーツ広場については 2 月に行う予定です。たくさんの方が参加できるよう複数のスポーツイベントを開催したいと考えています。

4 公共スポーツ施設予約システムの充実

【野田課長補佐】

予約システムは、平成 27 年 4 月より運用を開始し、現在、富士見公園内野球場、富士見第 2 公園内庭球場、塚越公園内野球場の 3 施設の予約に対応しています。今回新たに市民体育館と信濃わらび山荘を対象施設に加えて充実を図ります。予約システムの修正作業を昨年末に実施しており、信濃わらび山荘は 4 月下旬の開館に向けて 3 月 1 日から、市民体育館はリニューアルオープン後の 8 月 1 日から予約システムの運用を開始します。予算額 39 万 7,000 円はインターネット環境がない方やパソコンに不慣れな方も使えるよう窓口にタッチパネル式端末を置く費用です。

【頼高市長】

それでは、基本目標①から③について、皆さんよりご意見・ご質問をお願いしたいと思います。総合教育会議の議題に関わらないフリートークや市長の考えを聞きたいということでも構いません。

【飯野委員】

基本目標③に関連して、リニューアルイベントが多く開かれますが、市民体育館などで行われていない種目が体験できるイベントを年 1 回でも開催すれば、普段スポーツに接していない人も足を運びたくなり、スポーツが広まる契機になると思います。

【頼高市長】

事務局から、リニューアルイベントを問わず、何か考えられる取り組みがあれば話してください。

【榎本次長】

オープニングは、北町地区生涯学習フェスティバルや北コミまつりとの同時開催を予定しているので、コミュニティや関連団体との共催になりますが、体育協会やレクリエーション協会の協力を得て、空いているスペースを利用して体験教室を開催することなどが考えられます。

【頼高市長】

シンコースポーツ・毎日興業共同事業体が市民体育館の指定管理者になった際にボルダリング設備を置きましたが、現在はオリンピック種目になり、注目されています。

その他に、体育協会では地域ごとに支部があり、それぞれ春には球技大会、秋には運動会を行っていますが、球技大会では、支部ごとに工夫してニュースポーツの簡易テニスやスポーツ吹き矢を行っています。特に吹き矢は息を吐くので健康によく、的に刺さると気持ちがいいそうです。

今までもそれなりに工夫はしていますが、新しいスポーツに親しめる機会は大切です。各競技団体とも人数が減っており、会員を増やすために競技を紹介して体験教室を行いたいという意向はあるので、うまくニーズをマッチさせることが大事だと思います。

【頼高市長】

錦町スポーツ広場はフェンスに囲まれた土の広場で、一番利用が多いのはスポーツ少年団のサッカー、次いでグラウンドゴルフです。今回の人工芝化でサッカーがきちんとした環境で行えるようになるほか、若い人に人気のフットサルも、民間の施設を借りることなく、使えるようになると思います。グラウンドゴルフについても、正式な大会は芝が多いので、普段土で行っている蕨の人は不慣れなため苦労しているようですが、競技として行える環境が整います。

また、今は照明施設がないので 明るい時間しか使えませんが、夜間も使えるようになれば、利用可能な種目や人数が増え、スポーツ振興につながるという期待があります。スポーツ振興の助成金がもらえるよう担当にはぜひ頑張ってほしいと思います。

【頼高市長】

外国人児童・生徒について、これまで教育委員会で話題になったり報告したりしたことはありますか。

【杉田次長】

今までも外国人の子供は川口や蕨に比較的多くいましたが、今年度は急速に増えています。昨年度まで学校現場にいた立場としても、編入してきた子供たちの中で日本語が話せない子供たちがどんどん増えていることから対応が必要な事案であり、対策となる事業を進めさせていただいております。

【頼高市長】

外国人は日本全国で増えています。特に利便性の高い地域で急増しています。埼玉では県南の川口、蕨、戸田が増加しており、日本語が全くわからない子供も増えています。

子供自身にとっても、勉強にならず、授業が成り立たないのは教育以前の間

題のため、本人が理解できるよう、初期の日本語が教えられる体制をとることが必要です。外国人児童・生徒で一番多い国籍はどちらですか。

【杉田次長】

67%は中国です。よって、中国語を話せる人を探すことが重要です。

【頼高市長】

日本語、英語、中国語の3か国語を使える人を探すのは大変だと思いますが、ぜひよい人材を配置してほしいと思います。外国人児童・生徒の割合は、地域によって差があると聞いています。

【杉田次長】

西小学校は外国籍が1名しかいません。一方で、一番多い塚越小は1割以上が外国人で、二重国籍を含めると2割という状況です。

【飯野委員】

子供たちのための日本語特別支援教室は設置されますが、親への日本語教育も必要だと思います。公民館における日本語学習ボランティアの活動状況を教えてください。

【加納館長】

7館のうち5館で週に1回程度活動しています。非常に熱心で献身的に活動しており、会話だけでなく、保険制度や保育園の手続きをスマートフォンで調べるなど多岐にわたるサポートをしています。通っている外国人は国籍もまちまちですが、市外から評判を聞いてくる人も多いです。養成講座は、年に1回外部講師を招いて開いており、本来は年間を通して行う内容を、ここ数年は秋に集中して行っています。そのままボランティアグループに入って継続して活動いただいている方もいます。

【飯野委員】

同じ教育委員会の事業なので連携して行ってもらいたいと思います。

【頼高市長】

日本語ボランティアに通っている外国人は大人ですか。また、ボランティア講師の人数は何人くらいですか。

【加納館長】

開催時間が平日の日中のため、大人が多いですが、未就学のお子さんを連れてくるケースもあります。公民館では現在、日本語ボランティア養成講座を実施するなどしており、ボランティアの増加には、そうした講座を粘り強く続けていくことが大事と考えています。ボランティアの人数は、複数の公民館で教えている人をダブルカウントしても、100人に満たないくらいです。

【杉田次長】

特別支援教室は、福祉・児童センターの大きな部屋を借りているので、保護者も一緒に勉強できればと考えています。子供は3か月くらいで会話ができるようになりますが、保護者が送り迎えするなかで、できる限り一緒にいてほしいと考えています。

【頼高市長】

私自身の子供の場合でも、保育園に外国の子供が入った場合、子供は日本語を覚えるスピードが速いので、少し経つと子供が大人の通訳をするというケースがありました。子供が早く日本語ができるようになることが大事だと思います。

【小島委員】

生涯学習を含めての話になりますが、蕨駅東口の本屋がなくなってしまいました。マスコミでもよく言われていますが、本を好きになるのが学力向上の近道であり、生涯学習にとっても重要です。電車などで面白い広告を見て立ち寄れる本屋が駅前や中心部にあれば求めやすく、そうした環境はまちの文化度にとっても重要だと思います。

関連して、今後は、図書館の役割がより一層強調されると思います。子供が勉強する場所として、図書館の自習室もよく利用されますが、蕨の図書館はすぐいっぱいになるため、川口駅前の図書館までわざわざ行く場合があります。

図書館が駅前にできるなど拡充・充実すれば、蕨の子供たちの学力も上がるのではないかと、そして、それは蕨にとって必要なことではないかと感じています。

【頼高市長】

事務局から「子供読書活動推進計画」など何か話がありますか。

【小松館長】

予算に限りがあるのが実情ですが、お金をかけずにサービスを向上するため、

色々策を練っています。

【頼高市長】

蕨の図書館は駅前になく、面積も限られていますが、児童書、紙芝居を充実しているのが特徴です。読み聞かせボランティアもあり、早い時期から本に親しんだり学校へ本を貸し出ししたりする取り組みを行っており、今後も充実していきたいと思います。図書の出張貸し出しの体制について教えてください。

【小松館長】

北町公民館、東公民館、西公民館の3か所にある分館で、リクエストして本を受け取ることができます。また、蕨駅前西口連絡所のポストでは返却のみ受け付けています。

【頼高市長】

民間の本屋の経営判断について市が関与することは難しいですが、ネット販売に押されている影響はあると思います。本当はふらっと立ち寄れる本屋が駅前などにあればよいと思います。

また、少人数学級において、優秀な先生に来てもらうために待遇が重要です。臨時採用の先生は、市と県のどちらに行くかという問題がありますが、優秀な人材に蕨に来てもらうため、新年度から待遇を改善していくこととしています。

【杉田次長】

子供を育てるための先生の役割は大変大きいです。2、3年経験した先生の指導力は高いものがありますが、現在の給与体系は、初任給では市の中で上位であり、県を上回っているものの、数年経つと県の待遇を下回ってしまいます。若くて力が付いた教員を採用するために、ターゲットとする年代の給与を3万円ほどあげた予算を組みました。来年度以降は蕨市を希望する職員が増えるのではないかと期待しています。

【加藤委員】

市の努力で学校環境はよくなっていますが、重要なのはきれいになった環境を維持することです。学校は、掃除が好きな先生がいないとすぐ汚れますが、そうした先生は募集できるものではないので、掃除の仕方を代々受け継ぐシステムを作る必要があります。

トイレについては、1か月きれいな状態で使えば、以後も子供たちは汚さないとと思うのでそのための指導が大事です。芝生についても、以前赴任してい

た学校が芝生化して、3年間芝をきれいな状態に保つよう努力しましたが、校長が変わると学校が変わり、うまくいかなかった時期がありました。(仮称)東小芝生管理委員会においては、少しでも興味がある人に参加してもらうことで継続した維持管理をしてほしいと思います。芝があると隙を見つけてゴルフをやりに来る人もいます。せっかくのよい環境が駄目にならないよう大切に使ってほしいです。

日本語教育については、子供は順応できれば覚えていくのが早いですが、大人も一緒に覚えていく気持ちになるよう親も巻き込んで日本語指導を行ってほしいです。

最後に、公共スポーツ予約システムは素晴らしい取り組みであり、うまく機能すればスポーツに親しむ機会も増えていくと思います。オープン参加でスポーツを体験して興味を持った小学生がいても、中学に入ると、運動部の活動等で、他のスポーツをやる時間がないため、活動が途絶えてしまいます。継続した活動を市がうまくサポートすることで、蕨市全体の生涯スポーツに広がっていきと思っています。

【松本教育長】

小さな市でやれることはやっていると自負していますが、やる必要があることが次々出てきていると感じています。子供たちの学力は向上しており、体力も南部教育事務所管内でトップを維持しています。知力・体力両面のバランスのとれたよい指導ができていると思うので、今後も継続していきたいです。

また、各学校では図書館とタイアップしながら本を借りて子供たちに読ませしており、学校図書充足率も100%にするよう予算をつけています。冊数は足りていると思うので、あとはどう読ませるかが大事であり、各校では、年間20冊、高学年だと年間1万ページなどの目標を設定しています。日本語の力をつけないと他の部分で力を発揮できないので、引き続き努力していきたいです。

【頼高市長】

その他、全体を通して、何かありますか。

【一同】

特になし

(2) その他について

【頼高市長】

それでは、その他として、追加報告の説明をお願いします。

【根津次長】

蕨市と西武ライオンズの連携協力に関する協定の締結、NTT コミュニケーションズシャイニングアークスの指導によるタグラグビー教室の開催、第二中学校野球部 K ボール関東大会出場の 3 点について報告いたします。

【根津次長】

1 点目について報告します。机上に配付したその他資料 1 をご覧ください。12 月 20 日に蕨市と西武ライオンズの連携協力に関する協定を締結しました。目的は多方面にわたる連携に基づき、地域社会の発展や市民福祉の向上を図ることで、3つの柱に基づいて、共同で事業に取り組みます。

柱 1 スポーツ振興に関すること

小・中学校の児童・生徒とその指導者を対象として、埼玉西武ライオンズ OB が指導する野球教室支援事業があり、1 月 21 日に富士見公園内野球場で中学校の野球部員とその指導者約 60 人が元プロ野球選手 3 人から指導を受けました。その他、埼玉西武ライオンズ OB が体育の授業で野球型スポーツを行う体育授業支援事業や介護予防支援事業もあります。

柱 2 青少年の健全育成に関すること

野球観戦の招待として、2017 年シーズンを対象としたチケット引換券をいただき、配布します。具体的には、市内在学の小・中学生を対象に保護者 1 名分もセットにした約 4,400 枚を配布します。また、3 月から 8 月に市外から転入された方にも市民課で配布するほか、市施策用として人口の 5%である約 3,700 枚をいただき、市のスポーツイベント参加者等へ配布する予定です。その他に、青少年育成支援事業として、埼玉西武ライオンズマスコットキャラクターのレオとライナが幼稚園・保育園を訪問する事業もあります。

柱 3 地域振興に関すること

観光行事や名産品を埼玉西武ライオンズ主催試合で PR できるほか、PR 用の埼玉西武ライオンズグッズを年間 10 万円分いただけます。既に、締結を記念して懸垂幕や玄関マットが提供されております。

【岡部主幹】

2 点目、3 点目について報告いたします。資料 2 をご覧ください。

2 点目について、日本最高峰トップリーグで活躍する NTT コミュニケーショ

ンズシャイニングアークスのラグビー選手による教室を開催しました。現在、西小学校・中央小学校が終了しており、塚越小学校は2月24日に開催予定です。なお、西小学校については資料に3クラスとありますが、インフルエンザによる学級閉鎖の影響で2クラスのみが参加しました。

目的は、ラグビーの楽しさを学び、基本的な運動の実技指導を行うことで、教室終了後に、一緒に給食を食べる中で、体の大きな選手が食事の大切さを話し、残さず食べるよう呼びかける場面もありました。終了後における学校、保護者、児童の評判は、タグラグビー以外の部分も含めて良好でした。

3点目について、第二中学校が第27回U-15(KWB-CUP)埼玉県軟式野球大会に出場し、出場58チームで準優勝し、3月に開催される関東大会出場が決定しました。優勝チームは全国大会に出場できたのですが、スコアを見て分かったとおり、あと一歩と迫る非常に惜しい結果でした。校長・顧問、そして生徒は悔しい思いをしたので、関東大会や来年度の学校総合体育大会に向け練習に熱が入っているという報告を受けています。

【飯野委員】

タグラグビーは学校を一巡したら終わりですか？

【岡部主幹】

今年度に関しては7校で実施することを希望しましたが、近年のラグビー人気で問い合わせが増えたようで、3校の実施となりました。合同開催すれば対象児童が増えるという提案もいただきましたが、授業のカリキュラム上、児童が学校間を移動することは難しいため、未実施の学校を優先的にお願いしながら、7校を継続的に実施していきたいと考えています。

【頼高市長】

将来的に学校の先生が指導することはできるのですか？

【岡部主幹】

その方向で考えています。県も同じ考えを持っており、タグラグビーを指導できるような教員養成研修を今年から始めました。

【松本教育長】

2019年のラグビーワールドカップが熊谷市で開かれるので、県も力が入っているでしょう。

【頼高市長】

タグやボールなど道具一式を各校に配っているという話も聞きました。

【岡部主幹】

研修に参加した学校に配られるようになっており、抽選の結果、今年度は 2 校が研修に行っています。

【頼高市長】

学校対抗で行う競技としても、6 年生はサッカー、5 年生はミニバスケットボールがあるので、4 年生で行うにはちょうどよいと思います。

【岡部主幹】

国の学習指導要領でも中学年から適していると示されています。

【頼高市長】

その他、事務局から何かありますか。

【事務局】

次回開催時期ですが、10月下旬に開催することを提案いたします。

【頼高市長】

皆さん、よろしいでしょうか。

【一同】

異議なし

【頼高市長】

それでは、次回については、10月下旬に開催いたします。

【事務局】

詳しい日程と議題については、改めて通知いたします。なお、本日の議事録については、委員の皆さんに確認いただいたうえで、要領第6条の規定に基づき、ホームページ等で公開させていただく予定です。

【頼高市長】

本日は貴重なご意見をありがとうございました。その他、事務局から何かありますか。

【事務局】
特になし

【頼高市長】
それでは、予定していた議事は終了したので、進行を事務局にお返しします。

4 閉会

【川崎総務部長】
ありがとうございました。それでは、本日の会議はこれで全て終了いたしましたので、閉会とさせていただきます。